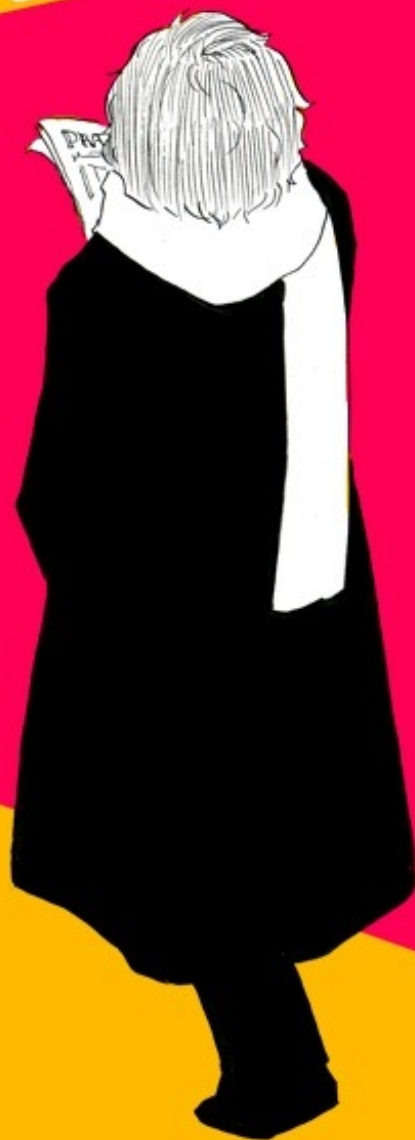


George MacDonald

M

The Magic Mirror



コスモの
勝ちだ！

あきらめろ
スタインワルド



まだ続けるかい？
スタインワールド

僕はいいけど、
君の負けが
かさむよ。

残念だったな！
コスモは
このクラブで一番
強いんだよ！

しくじったな
スタインワールド

チクシヨウ
負けかよ！
いくらだ？



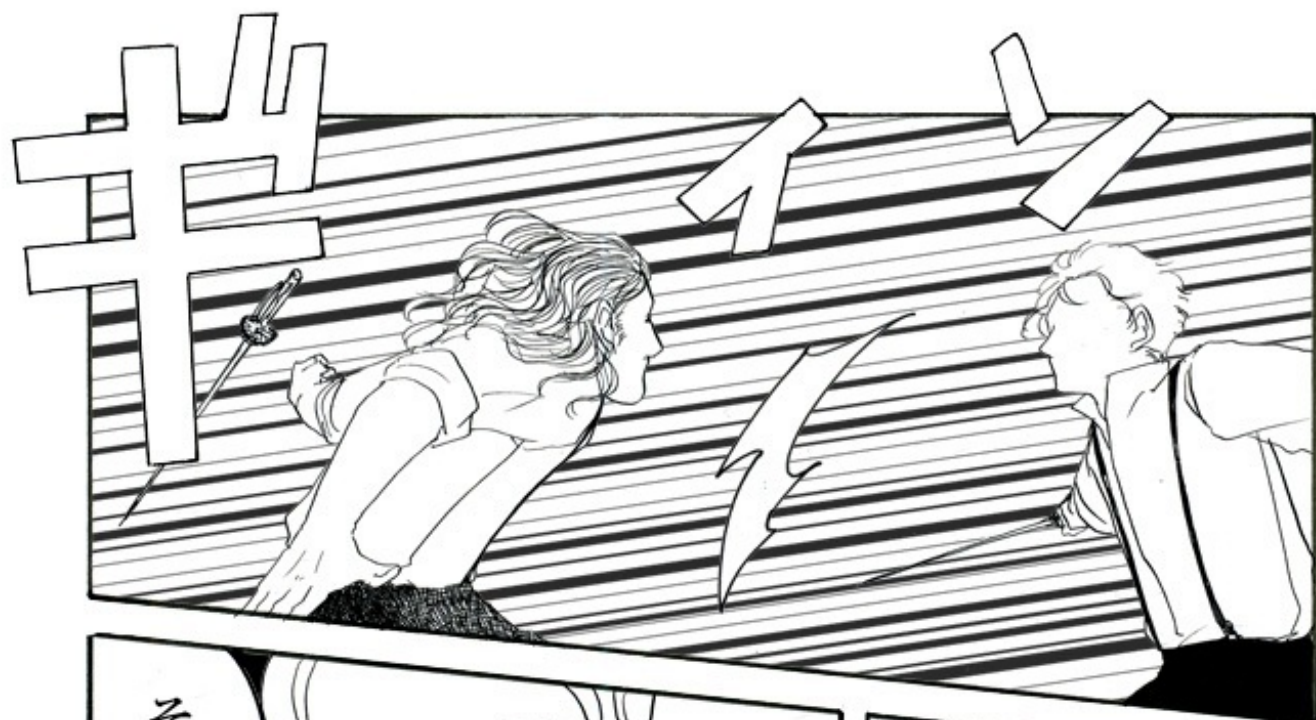
ふざけ
るなッ



コスモ・フォン・
ウェルスタール！

お前のような
没落した野郎に
オレが負けるわけが…







これこれ!
どう思う?

ああ、いいんじゃないかな。
カレルこういうの
好きだよな。

実用じゃないかもね。
十六・七世紀ぐらい?
意外と状態がいいな。

バラけてるけど、
装飾も凝ってるし
きれいだよな。

だよな!

あ、すみません
これください。

まいど
どうも〜







失礼ですが、
お名前を聞いても？

コスモ・フォン・
ウエルスタール

ああ！
ウエルスタール家の
ご子息でいらっしゃい
ましたか！

なるほど、
お父様によく似て
いらっしゃる！

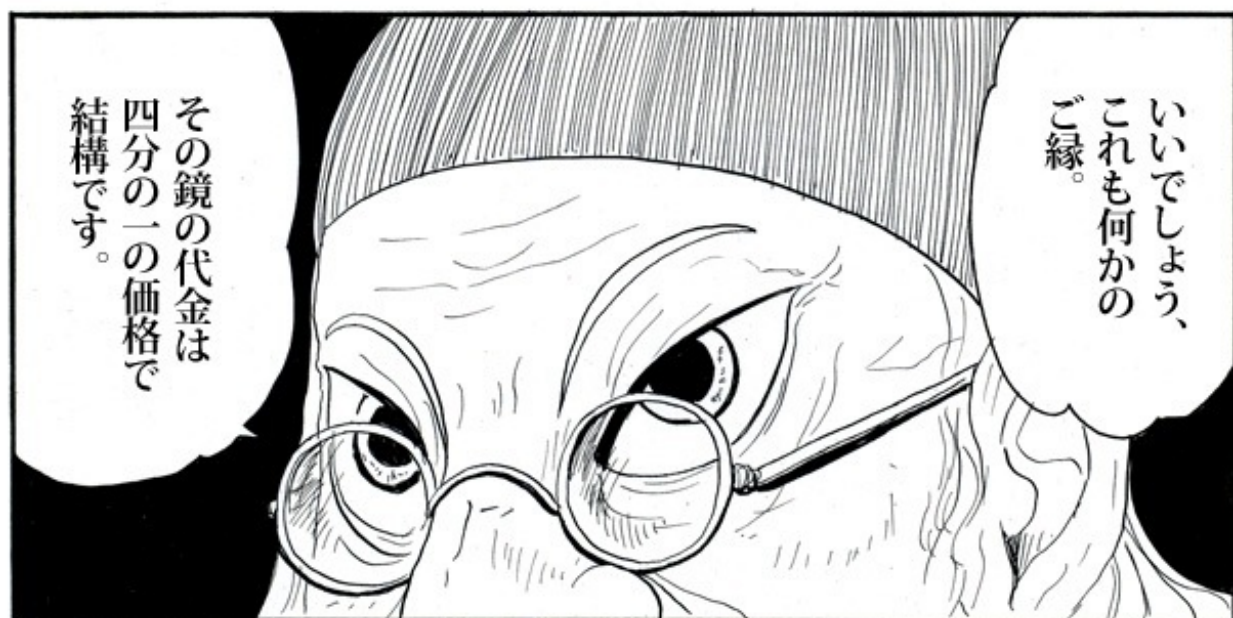
この店にはあなたの
お父様の紋が入った
商品がたくさん
ございますのでね。

お父様からは
色々買い取らせて
いただきましたよ。
ええ、ええ。

買い戻されるのを、
私としてもお待ち
申し上げます。

懐かしいでしょう。
何かご覧になり
ますか？

結構だ。



いいでしょう、
これも何かの
ご縁。

その鏡の代金は
四分の一の価格で
結構です。



ただし、条件を。
もし、鏡をご返品
するようなことが
あったら、

残りの四分の三を
払って頂きます。



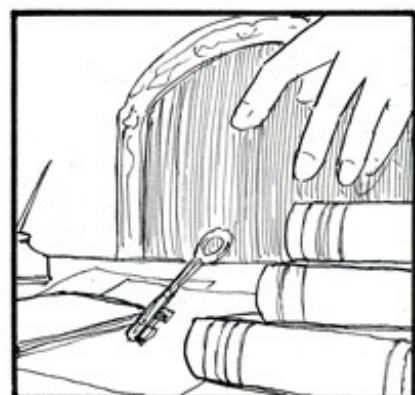
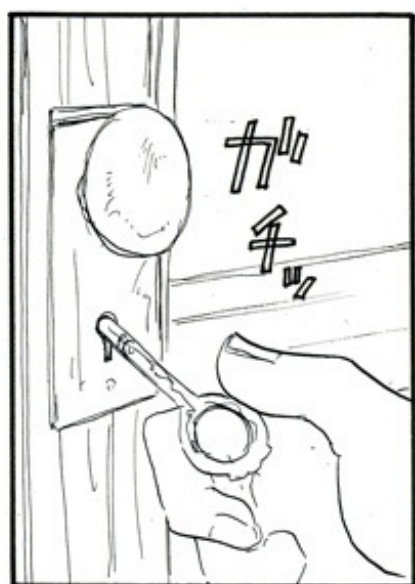
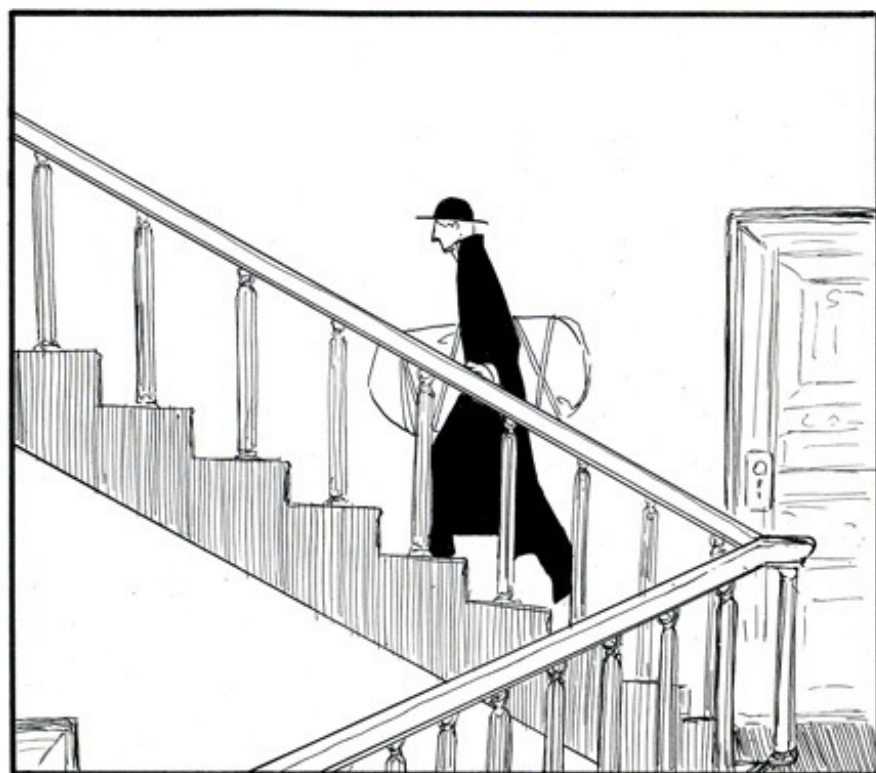
……。
四分の一で
いいんだな？



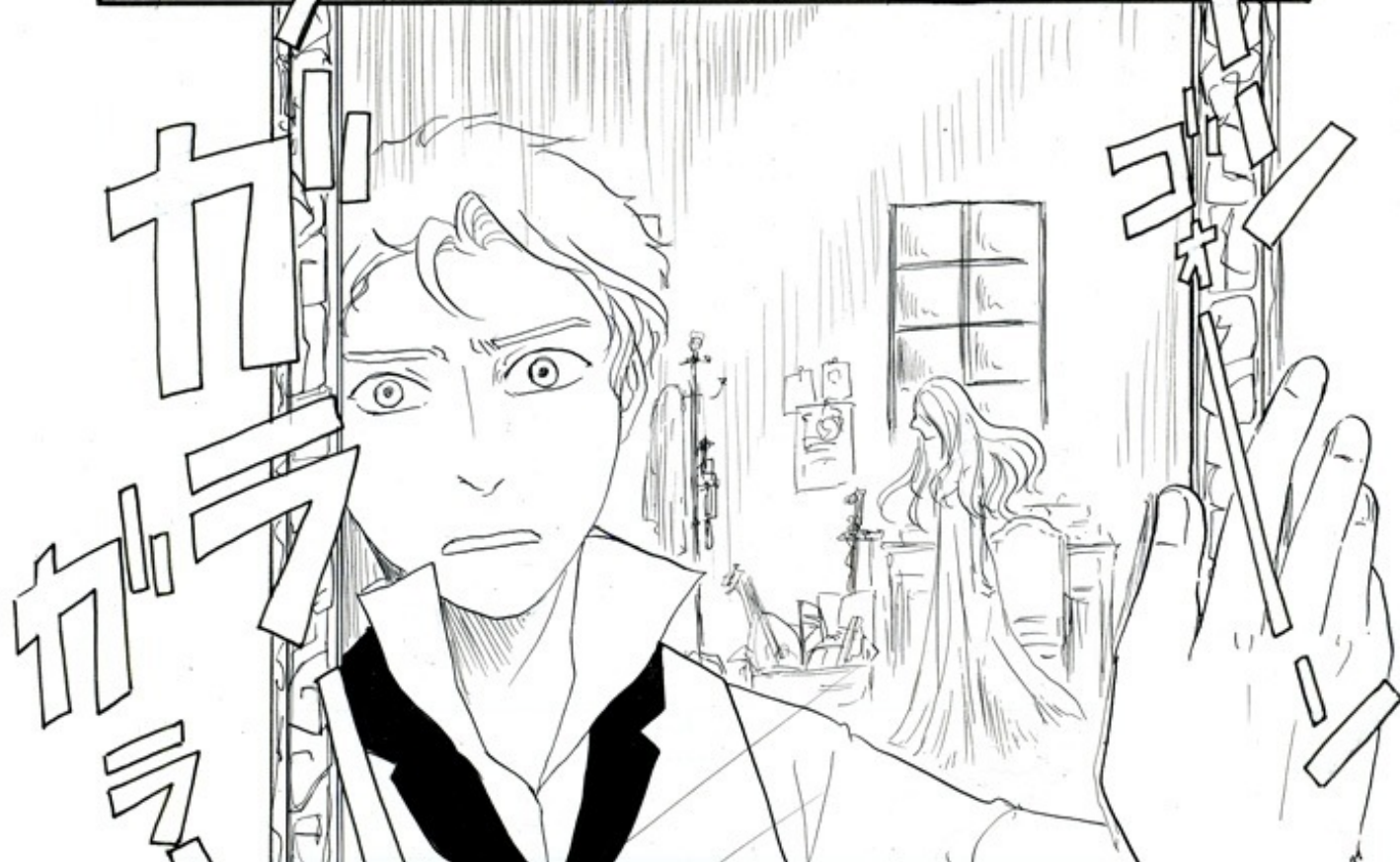
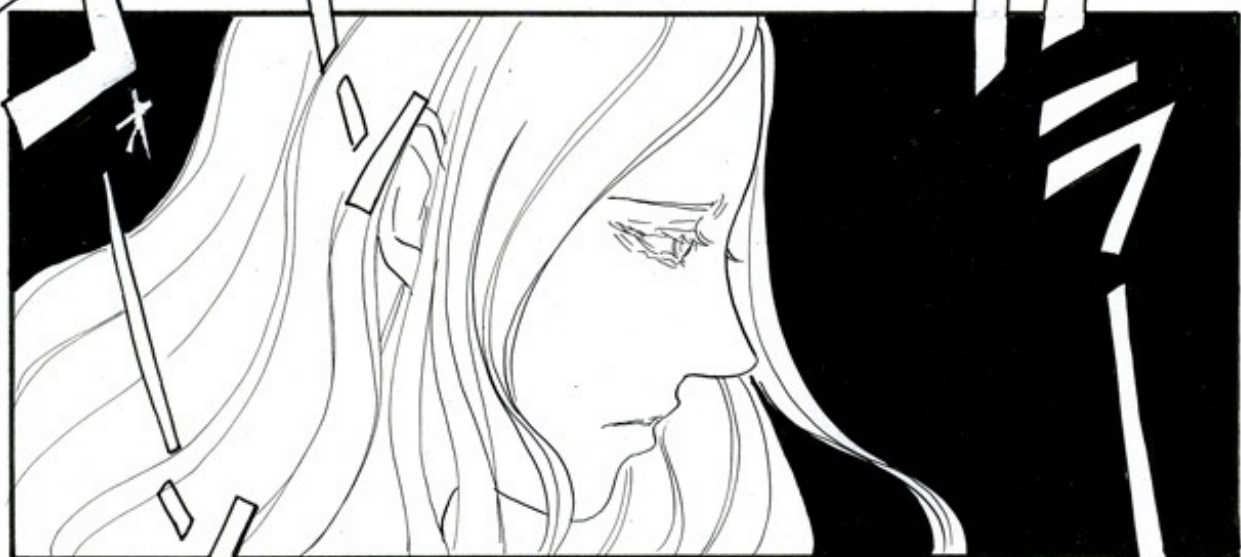
返品するのに
金を払うのか？

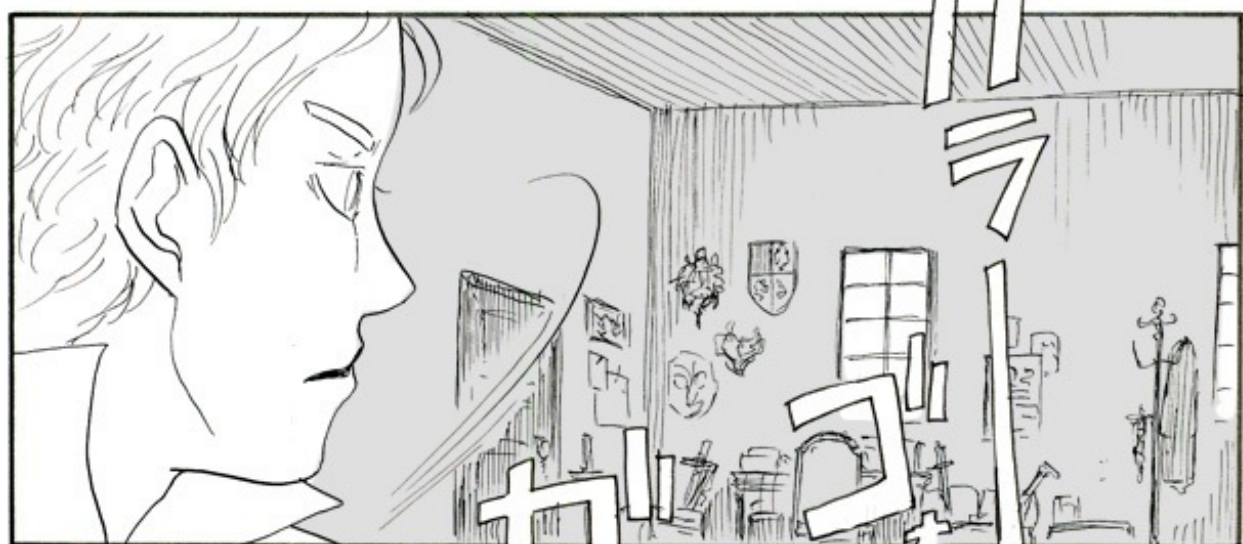
ええ。

何の冗談だ？











よう、コスモ！
久しぶりだな！

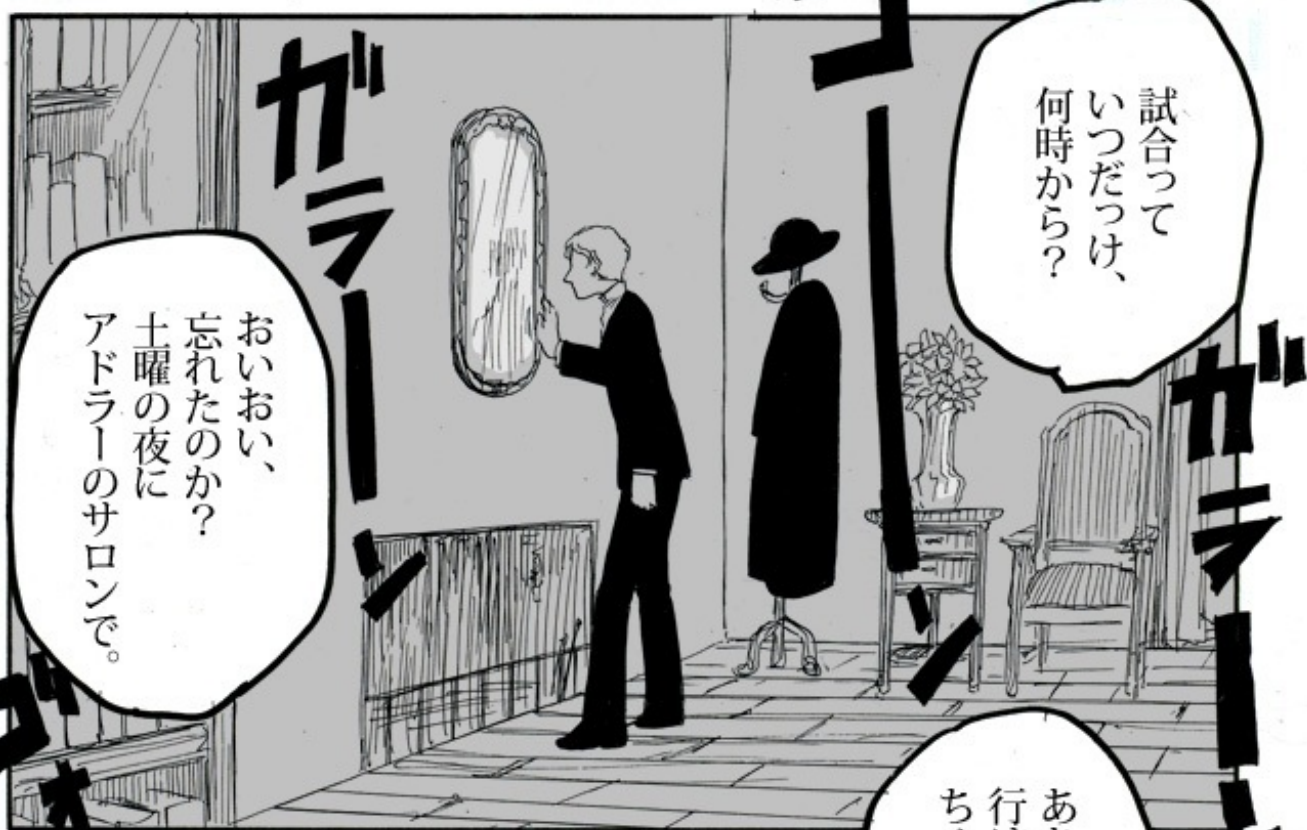
最近付き合い
悪いじゃん。
何かしてんのか？

え？
いや、別に…
いつもどおりだよ。

そうか？
そうだ、今度の試合、
お前も出るよな？

ああ、うん
もちろん。





試合って
いつだっけ、
何時から？

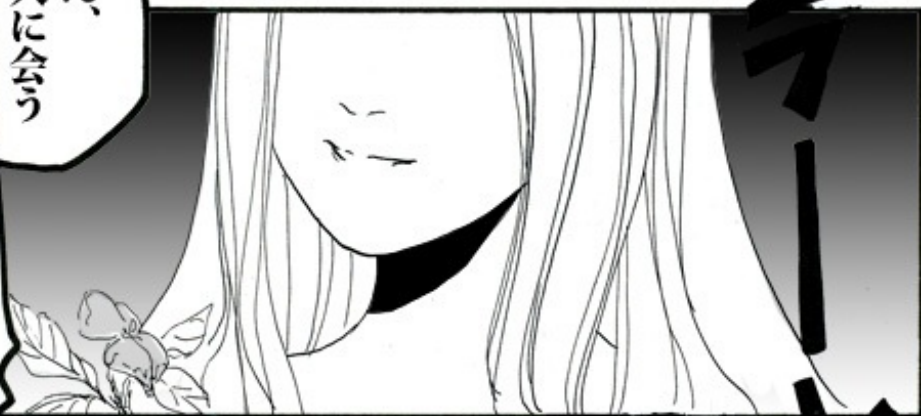
おいおい、
忘れたのか？
土曜の夜に
アドラーのサロンで。

ああ、ごめん、
行けないや。
ちよつと用があつて。

ハア？

ごめん、
夜は人に会ふ
用

試合より大事な
用事なんて
あるのかよ？



お前、何か
おかしいぞ？

そんなこと
ないよ。

それより、
前に話してた
剣術の講師、
あれ、引き受けるよ。

へ？

えっマジで？
やった！
お前だったら
絶対儲かるって

なんだ
金アゲたのか

いや、まあ

紹介料
二割な！

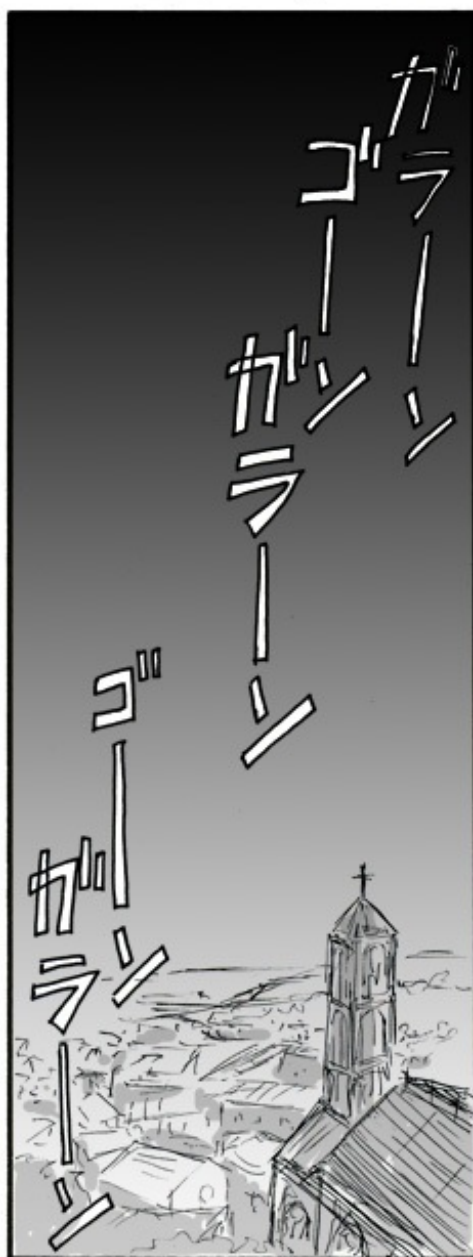
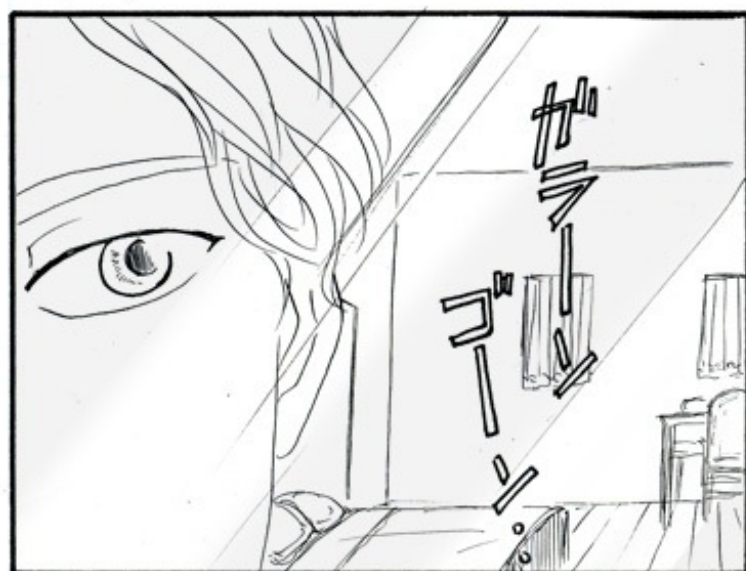
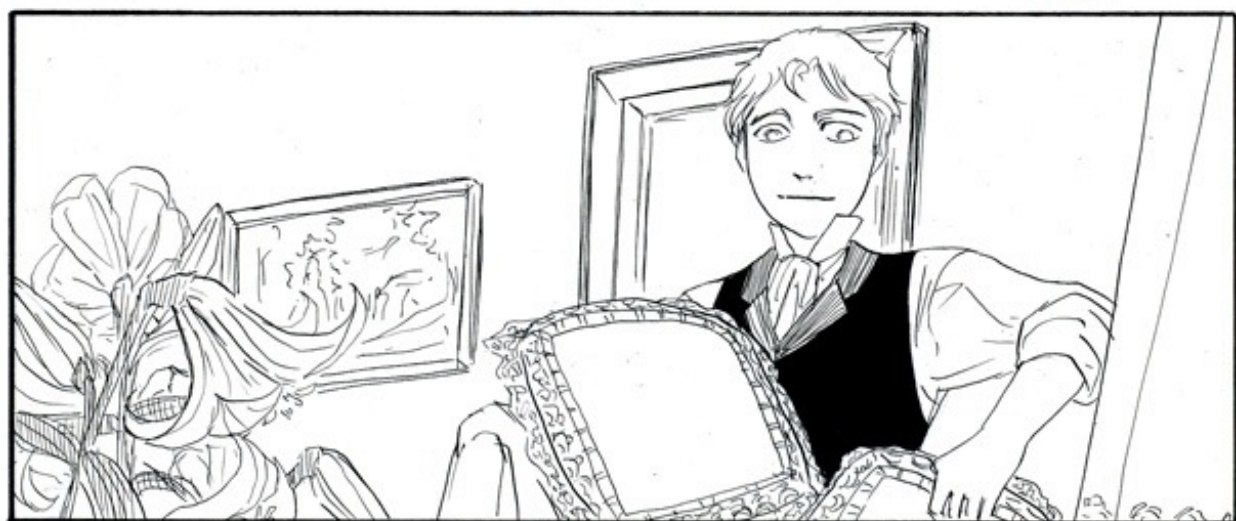
それと、
ちよつと相談が
あるんだけど、

おお、何だ？
何でも聞くぞ？

女性が喜びそうな
家具とか内装って
どんなのかな？

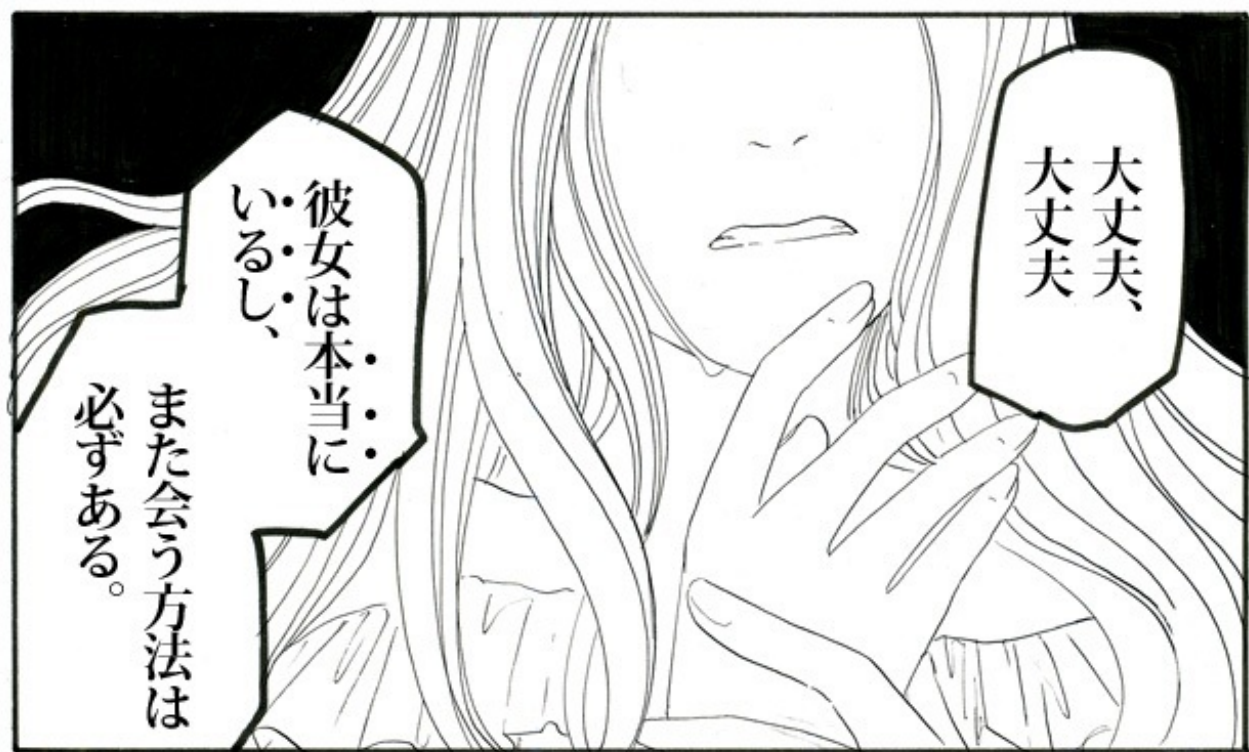
チッ

女か。











そうだよ
妄想じゃないんだ
いるんだよ



必ずまた
会える。

大丈夫
わかるよ、
あれだ、

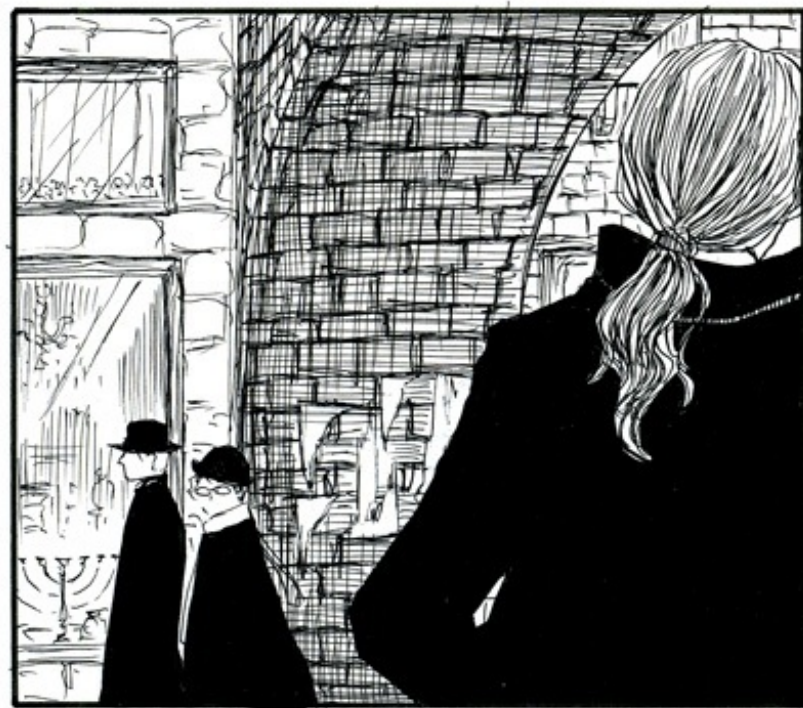


鏡のせいだろ、
あの中に、
あれのせいで



お？ アレ

コスモじゃ
ないか？





ארבדכ ארבא

ארבדכ אדבא

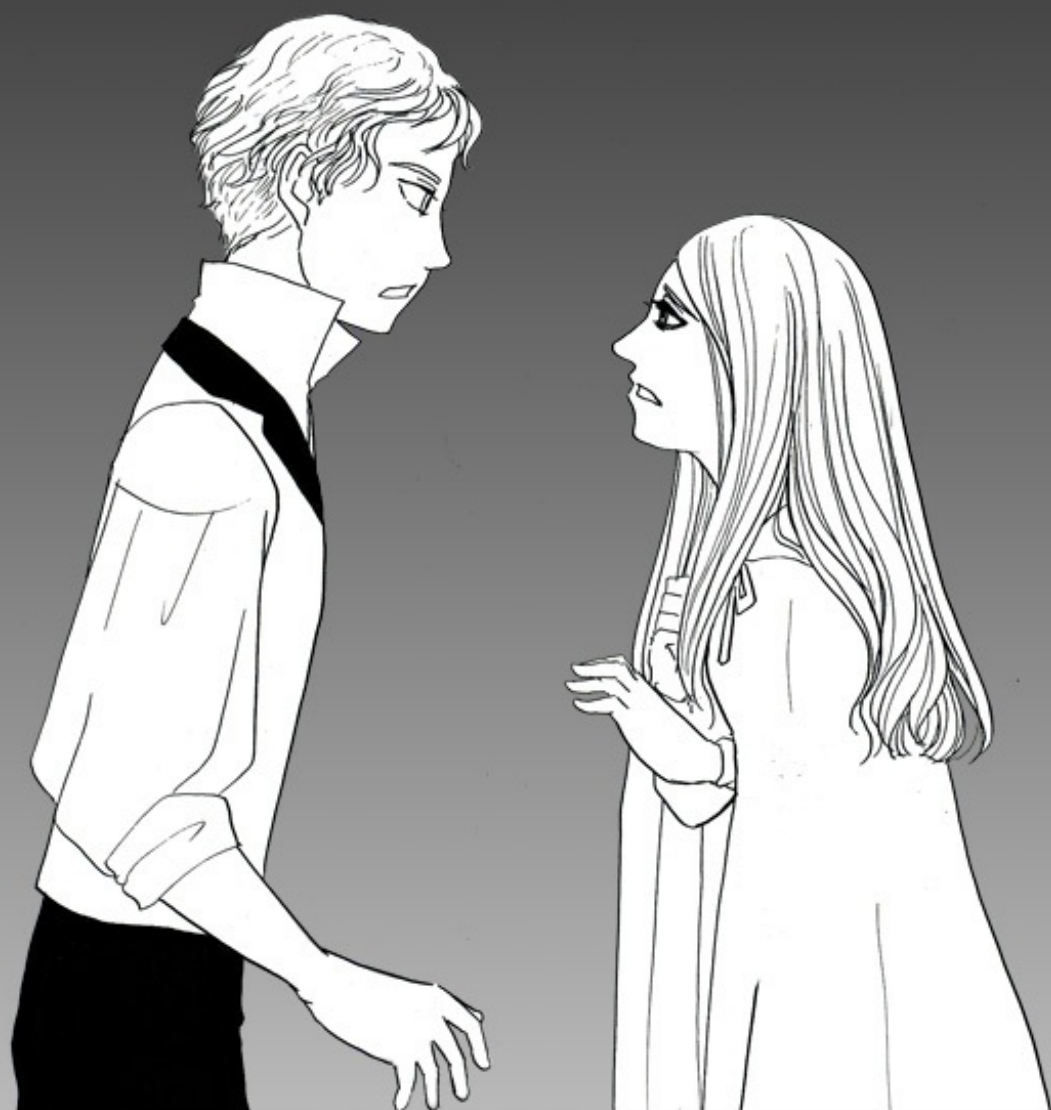
אוה קורב שו

הפוג נאכ ה





どうして私を
呼んだの……？



あ、あなたに

あなたに
触れたくて。

私は…

私は、すでに
あなたの手のうちに
あるモノです。

こんな方法でしか
あなたに会う方法が…

あの鏡…

あの鏡に
囚われている
うちは……。

もし…

もし、あなたが本当に
私を想って下さるなら
……どうか、



鏡を壊して。

私を自由に
してください。

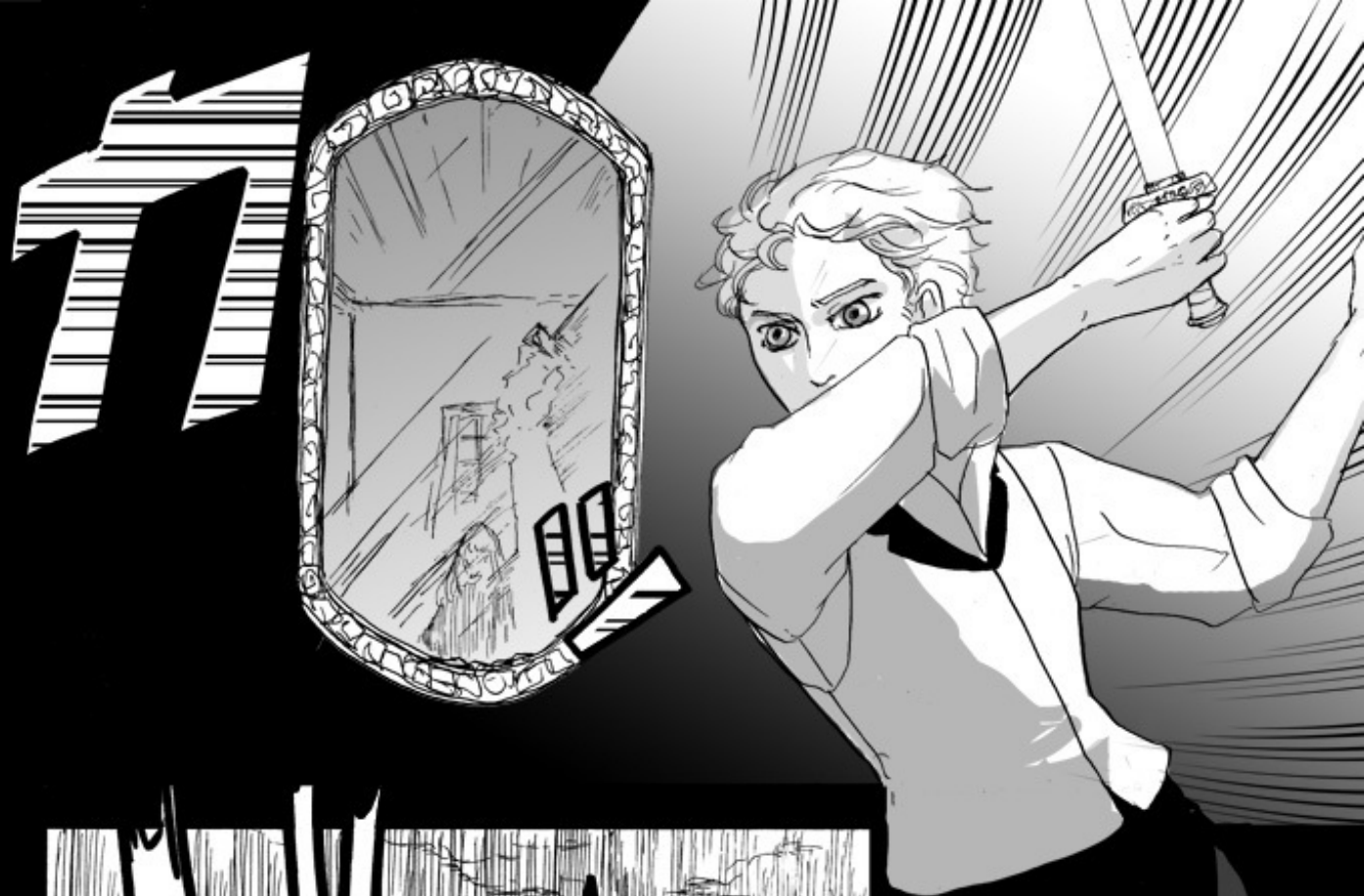
ゴ
ロ

ゴ
ロ

ゴ
ロ

ゴ
ロ

ゴ
ロ



鏡？

おやまあ
盗まれたと？

それはそれは
災難なことです。
ほかに被害は？

え？
返品の
代金ですって？

結構ですとも。
もちろん。
盗まれたのなら
仕方ありません。



お気の毒な
ことです。

……
そうか。

また
お待ちして
おりますよ！

やれやれ。



鏡の話、
ご存知
なくて？

使用人が大事な
言いつけを守らな
かったとかで

お咎めで解雇。
翌日には姿を
くらましたそう。

それが？

使用人と一緒に
お嬢さまの大切な
鏡が消えてしまった
そうよ。

それからというもの
体調がよろしくなくて、
心ここにあらずで
ずっとベッドの上。

消えた鏡の中に
お嬢さまの魂が
閉じ込められて
しまっているのだ
とか。

きっとその
使用人が魔女
だったのだわ。

ええ、
そうよ！

きっとそうだわ。
お嬢さまは
魔女に呪われてしまった
のだわ。
嫌あねえこわいわ。

おい、
コスモ！

待てよ、
どうしたんだ
お前？

なんでも
ないよ。

なんでもなく
ねーだろ
どーみても！

おい、
ちよつと待て
つてコスモ！

カレル

君には関係ない
ことだよ。

お前……
人が心配してん
のに何言つて……

あついたいた！
カレル！
あつコスモもか。

おお、ヤン！
何だ？
どうした。

スタインワルド
探してるんだけど、
今日来てる？

そーいや最近
見てないな！。

だろ？
練習でも
来なくてさ。

あつ待て待て、
しばらく前に
見たぞ！

えーと
骨董屋から
出てきた時だ。

ホラ、お前と甲冑
見に行った骨董屋だよ。
あそこで見たんだ。

あいつも何か
探してたんかな？

アレ、ヘラの
「スライム」じゃね？

いつ？

えー？あー…。
夜に大雨だった日だよ。
お前も昼間は街に
出てなかったか？
見かけたぞ。

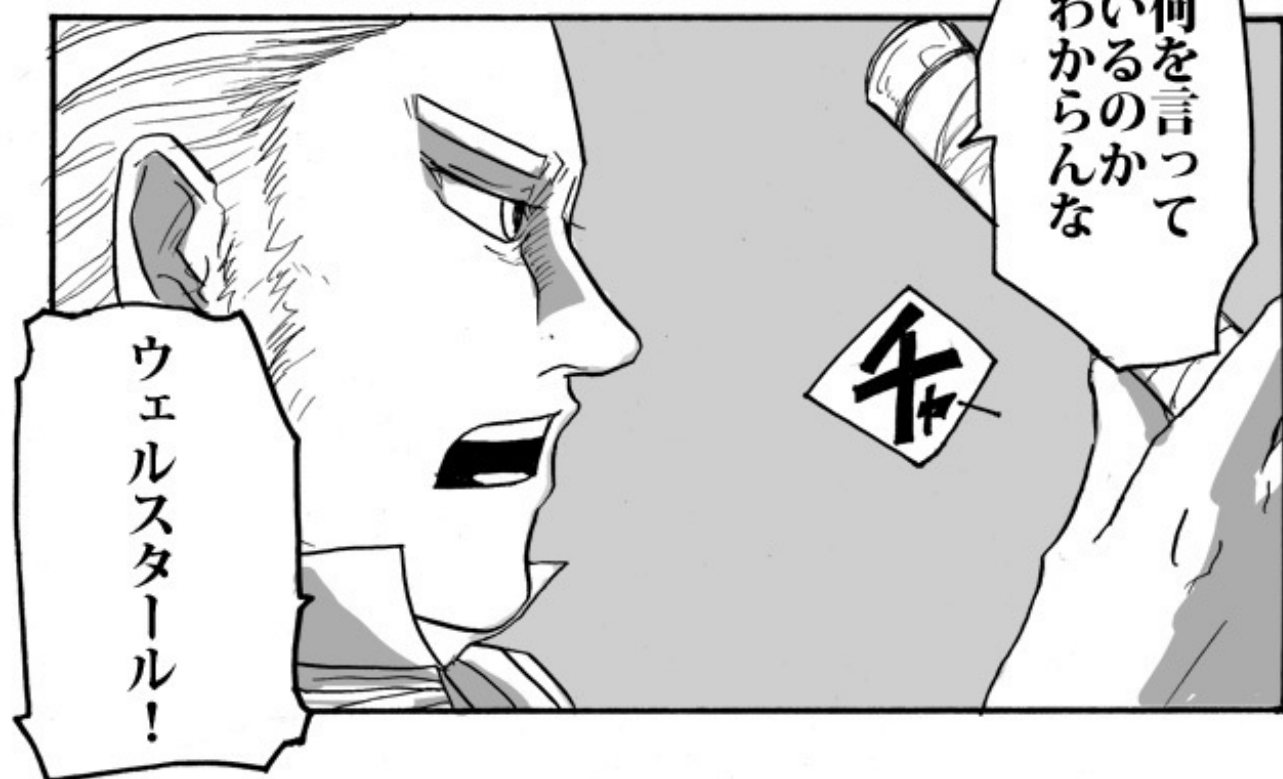
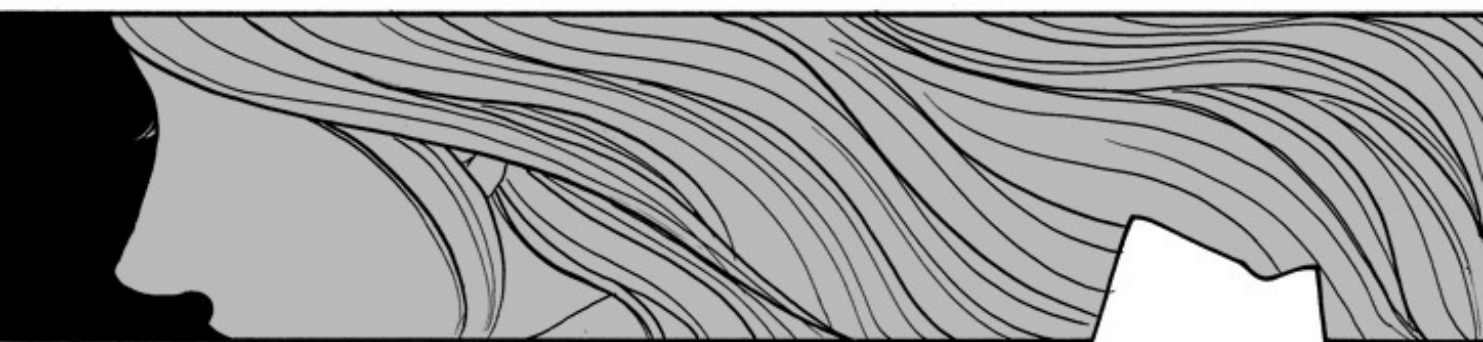
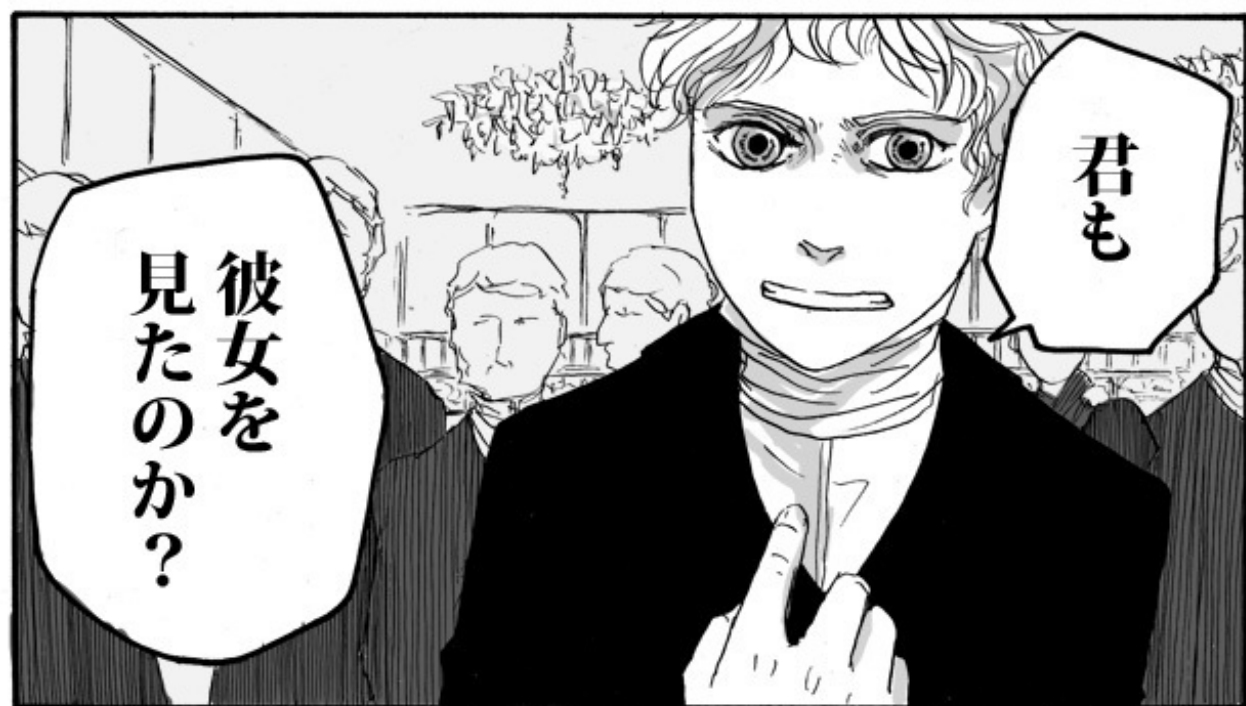
!?

ありが
とう！

ハア？

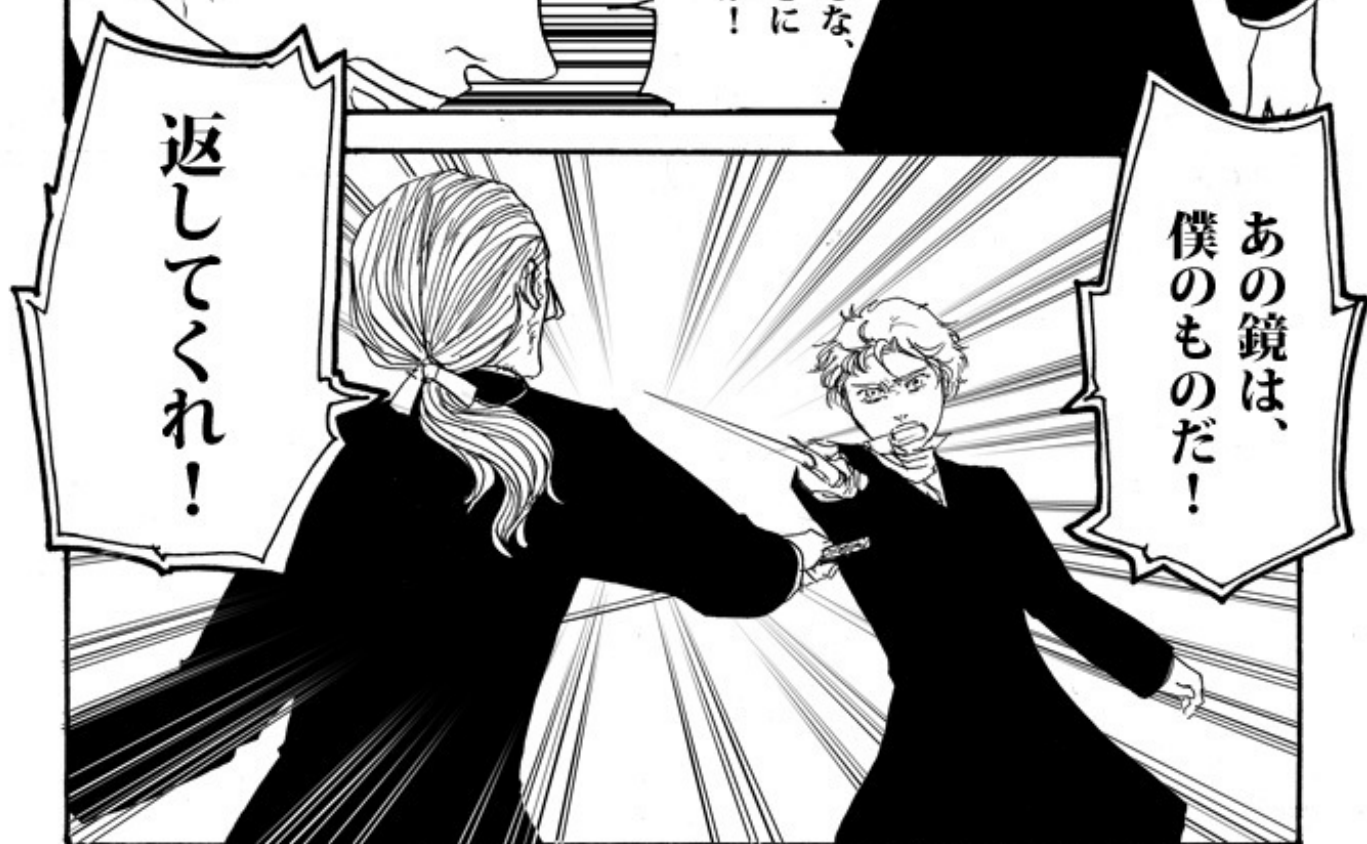
おい！
お前やつぱ
おかしーぞ！

コスモ！

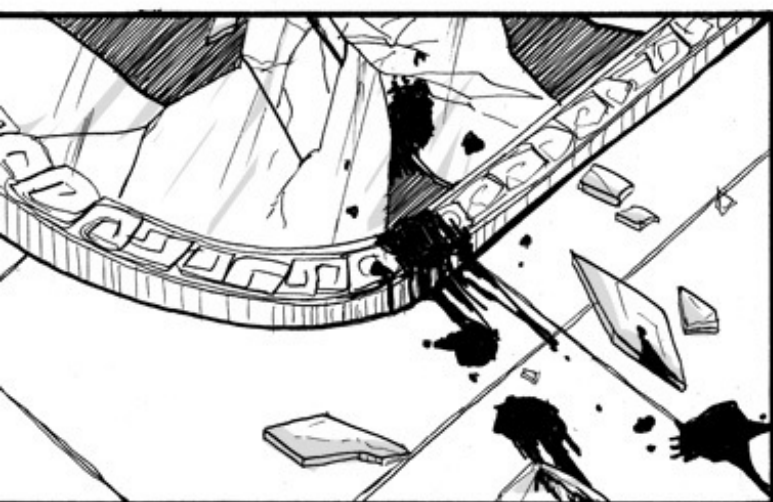
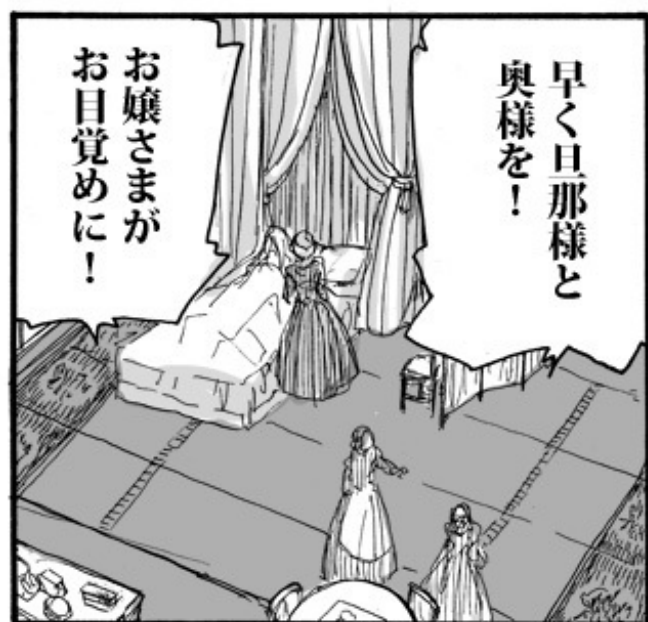





ふざけるな、
恥をかきに
来たのか！





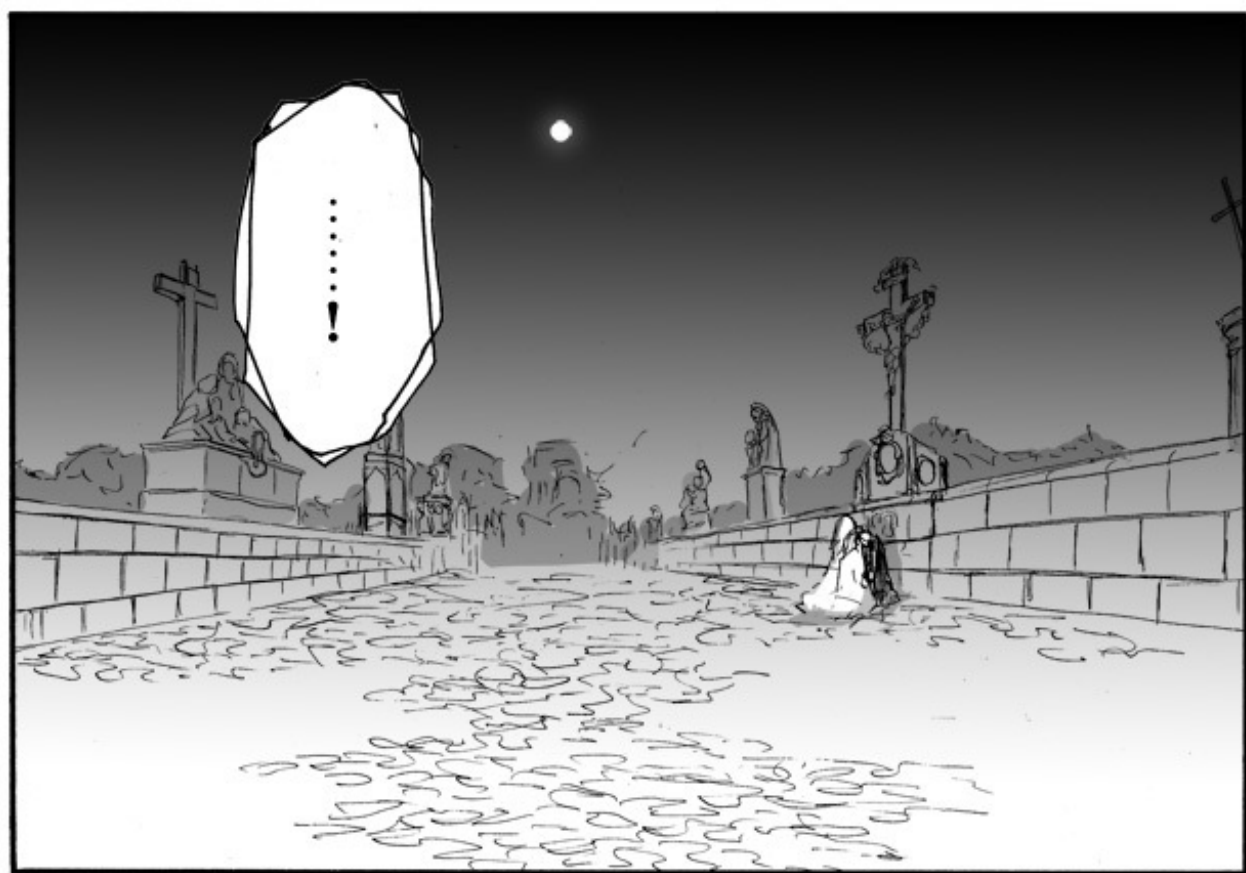




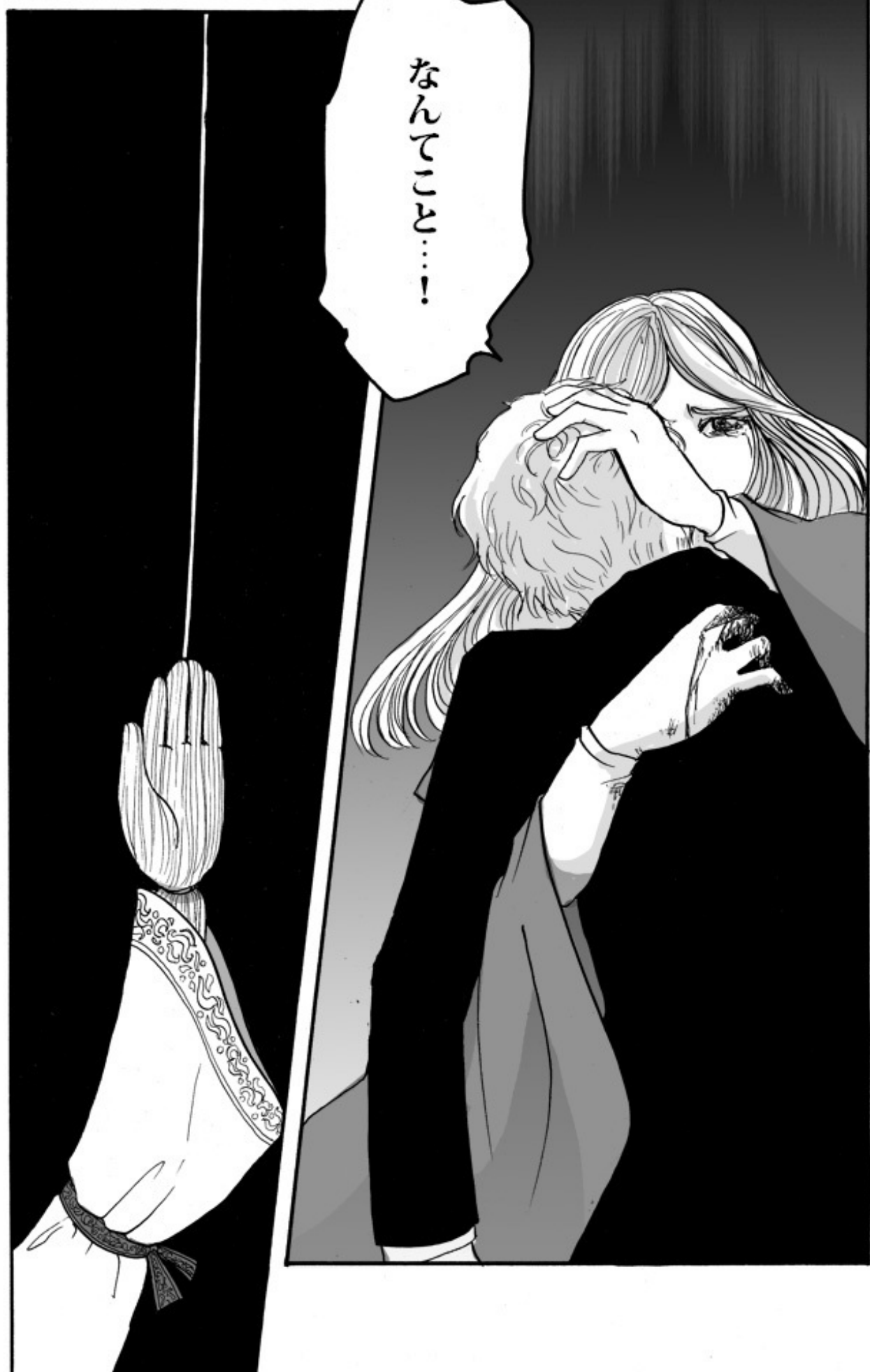
ええ、ええ、
あなたのおかげで、
もちろん！

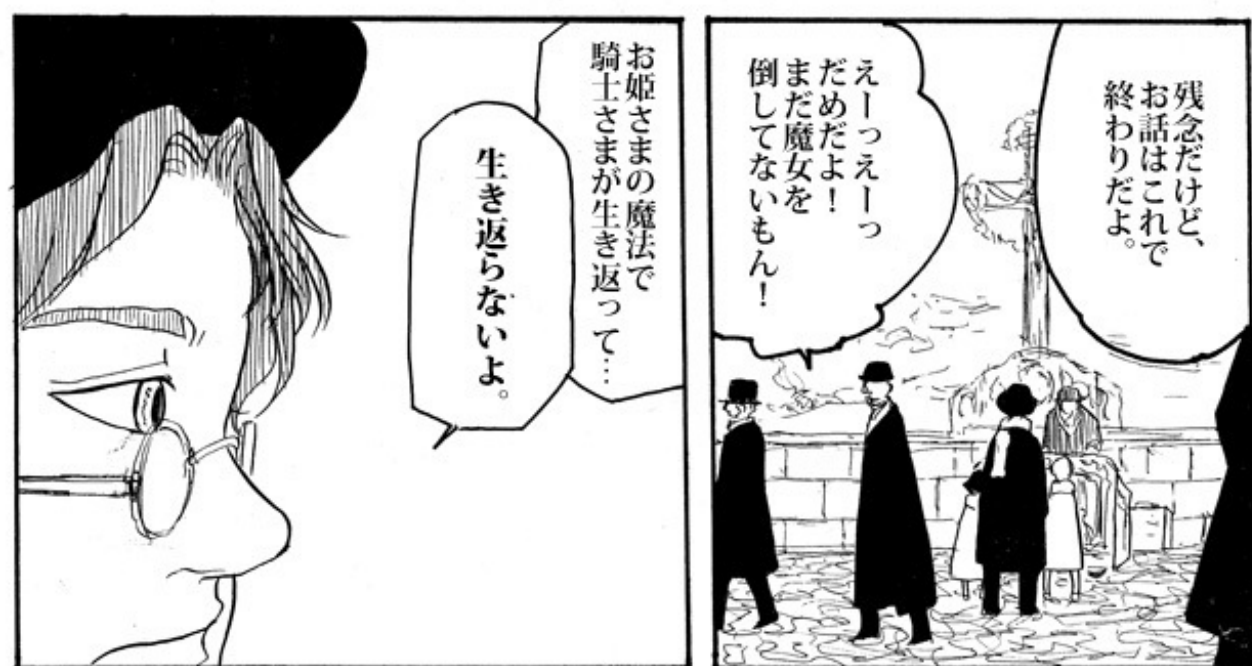
今、あなたの
ところへ
行こうと……！

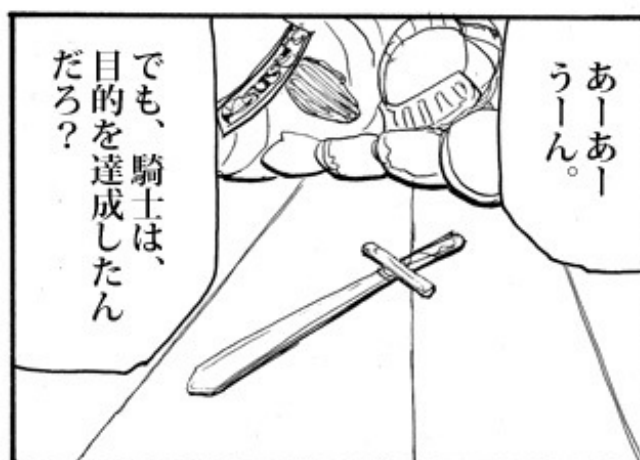
僕は…報われたので
しょうか…？
少しでも…あなたを…



なんてこと……！







END

この漫画は、青空文庫で配信されている、
ジョージ・マクドナルド「鏡中の美女」を翻案・漫画化した作品です。
<http://www.aozora.gr.jp/cards/001117/card43468.html>

漫画化するにあたり、セリフ・場面等の大幅な改変等がなされています。
一番大きな違いは、主人公コスモの友人カレルは原作中には存在しません。
カレルは原作の中で描かれるコスモの名無しの「友人」たちをキャラクター化したものです。
スタインワルドも、原作では後半になって初めて名前の出てくる人物なのですが（しかも名前だけ）、漫画ではコスモの敵役としてそこそこ活躍（？）してもらいました。剣術の試合や賭け、クラブの活動的な部分、スタインワルドの行動などは私の完全な創作です。このように読むこともできるのではないかとねじ込ませてもらいました。

何故カレルやスタインワルドをキャラクターとしてしっかりたてたか、というと、原作を読んでいて、コスモに全く感情移入できなかったからです。この主人公の行動規範にどうしてもコミットできなかったのです。

この物語を漫画として描くに当たり、主人公の想いを自分のものとして描くことは私には難しく、第三の視点がほしかったのです。それが友人たち・ライバルとして存在するカレルやスタインワルドです。

漫画のため、小説とは言葉のリズムの取り方が大きく違います。漫画式の展開の仕方に沿うように、小説らしい長い独白等はかなり削除しています。詩的な文章は絵の無い形式だから楽しめる表現形だと考えておりますので、漫画では愛の告白や思いの丈を述べるシーンなどはそうとうバッサリ切っていますすみません。

コスモがオカルト好きでロマンチストな実践派武器オタク、というのが、もうちょっと大きく描ければよかったのですが、私の技量が足りませんでした。

私では読解力や知識が足りず、原作小説から拾い切れなかったものも多々あるかと思います。何か大きく勘違いをしておりましたら、容赦なくツッコミを入れていただきたいです。

中でも一番気になっていたのは、ホーエンワイスのお嬢さまはホーエンハイムのことなのか？という点。パラケルススの末裔だとすると、鏡に囚われのお嬢さまもそこそこ不思議な力を使ってくれてもいいよなぁと思うのですが.....。

余談が長くなるのも無粋ですのでこんなところで。
ここまで読んでいただきありがとうございました。

M The Magic Mirror

<http://p.booklog.jp/book/24780>

著者 : sdt

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/scarlet-d-t/profile>

眼鏡の瓶底 : <http://fweb.midi.co.jp/~scarlet/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/24780>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/24780>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.